

【記者発表先】

岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

令和6年11月14日
東北地方整備局

東日本大震災から5,000日、あの日を忘れない ～ 『震災伝承館』の情報を充実します ～

東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、東日本一帯に甚大な爪痕を残しました。東北地方整備局では、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験や教訓を後世に伝えるため、当時の写真や映像等を掲載した『震災伝承館』を平成25年3月に開設しました。

この震災伝承館には被災した市町村等のご協力のもと、約8,800点の写真や映像等の記録を掲載しておりますが、この度、報道機関・大学・国立国会図書館・海上保安庁等が所有されている当時の写真・映像とも連携し、更なる情報の充実を図ることといたしました。

利用者の皆様にとって更に使いやすい『震災伝承館』を目指すとともに、東日本大震災の教訓や今後の備えに対する理解が深まるよう、引き続き震災伝承に取り組んでまいります。

サイト名：東北地方整備局 震災伝承館

URL：<https://infra-archive311.thr.mlit.go.jp/>

震災伝承館



(サイト更新時期)

日時：令和6年11月17日（日）14時46分を目処

※東日本大震災（H23.3.11）から5,000日

(新たな連携機関)

NHK : 東日本大震災アーカイブス

FNN : 3.11 忘れない FNN 東日本大震災アーカイブ

河北新報 : 河北新報社震災アーカイブ

東北大学 : みちのく震録伝

東北学院大学 : ゲームで学ぶ津波防災まちづくり（工学部水工学研究室）

国立国会図書館 : ひなぎく（東日本大震災アーカイブ）

海上保安庁 : 海上保安庁提供動画

国土交通省 : 防災学習ポータルサイト

※本内容は、現時点での予定であり変更となる場合があります。

※アクセス集中などによるサーバー負荷を超過した場合には、一定時間、アクセス困難になる可能性があります。

【問合せ先】

東北地方整備局

企画部 企画課 課長補佐 ひのぐち 日野口 げん 巖 代表電話 022-225-2171（内線 3158）

(概要)

- ・「震災概要」「写真」「動画」「震災遺物3D」「年表」「読みもの」等からWebサイトを構成しており、写真は転載依頼を前提に二次利用を可能としております。
- ・動画素材としても、災害の様子や対応してきたこと、施設管理用監視カメラ画像も収録しておりましたが、この度、海上保安庁の動画も追加します。
- ・さらに、『くしの歯作戦』等の各ミッション、『地域支援』（TEC-FORCE、リエゾン等）、インフラの『復旧・復興』の状況やプロセスを掲載しております。

現在、運用中の【東北地方整備局 震災伝承館】 ↓



動画 (海上保安庁提供動画)

◆二次利用について
「動画」を二次利用する場合は、第二管区海上保安本部まで連絡してください
第二管区海上保安本部総務部総務課 (宮城県塩竈市点山通3-4-1)
TEL 022-363-0111

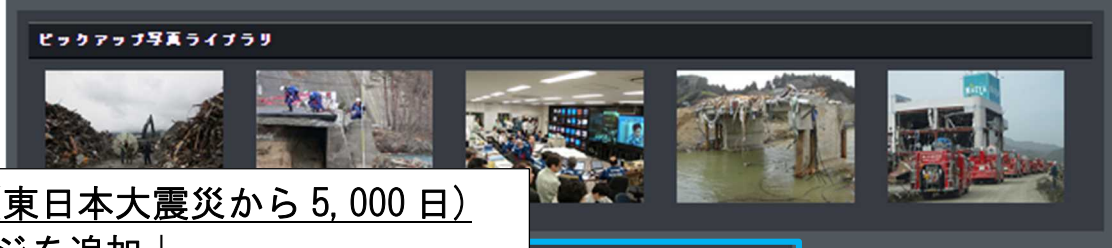
<p>宮城海上保安部所属 巡視船まつしま 福島県相馬郡沖で津波に遭遇</p> <p>再生</p>	<p>仙台航空基地所属ヘリコプター撮影 仙台空港へ到着する津波</p> <p>再生</p>
<p>仙台航空基地 津波撮影</p> <p>再生</p>	<p>気仙沼海上保安署 津波撮影</p> <p>再生</p>

海上保安庁所有の動画を追加

2011年3月11日14時46分、東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、我々に大きな爪痕を残しました。過去から繰り返す津波の悲劇と、その都度建てられた津波石、先祖の代から続く思い、「二度と繰り返してはならぬ」東日本大震災は、日本の甚大な津波災害を画像・映像等で克明に記録した初めての災害と言われています。我々東北地方整備局も津波石を残した先祖達のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経緯・教訓を活かすための記録を作成したものです。

明日の日本の防災力向上へ向け、皆様と一緒にこの出来事を伝承していくことを強く希望しております。

掲載の写真、映像等のコンテンツは、貴殿が作成する資料等にご利用していただくことが可能です。利用する場合は[転載依頼フォーム](#)からご連絡ください。なお、ご利用の趣旨が、防災力の向上をめざした目的以外は、ご利用をお断りさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。



11月17日(東日本大震災から5,000日) WEBページを追加 ↓

